



メニュー画面





1

1分04秒

字幕



あなたにとって平和とは? ～シリア 難民キャンプの子どもの声～

「あなたにとって、平和とは?」ヨルダンのザータリ難民キャンプに暮らす、シリア難民の子どもたち7人が答えてくれました。「誰かがあいさつしてくれること(アイダ 7歳)」「安全だと感じる。みんながお互いを大切にすること。学校までの道が安全なこと(ウィアム 11歳)」

- 「平和」について改めて考えさせられる1本です。シリア難民の子どもたちが「平和」と聞いてイメージするものは、私たちが「当たり前」と気にも留めないような日常の場面であったりします。人それぞれにある「平和」のイメージを語り合い、その「平和」を実現できる世界を築くために、私たちに何ができるのか考えてみませんか。

2

2分07秒

字幕



教育をあきらめたくない ～ロヒンギャ難民のラシェッド君～

ロヒンギャ難民の男の子ラシェッド君は、ミャンマーからバングラデシュに逃れてから学校に通えなくなってしまいました。「教育を受けたい。ちゃんとした教育を。じゃないと僕の人生は台無しになっちゃう。やりたい仕事もできなくなっちゃうよ」

- 社会科の授業などで難民問題を扱う際に、その現実を知るために活用してほしい1本です。子どもたちからあらゆるものを奪う厳しい環境がある一方、望みを捨てずに、将来の夢を描いている子どもたちがいます。同年代の子どもたちの声を通して、難民問題を身近に考えるきっかけにできる動画です。

3

1分54秒

字幕



子ども兵士から解放された ジョセフ君

武力紛争が続くコンゴ民主共和国カサイ地域では、多くの子どもたちが兵士にされています。民兵組織から解放され、ユニセフが支援するセンターで暮らすジョセフ君が自分の経験や気持ちを語ります。

※「6カ月間民兵として戦って、7人を殺した。」という告白から始まります。視聴の際は、対象の児童・生徒にご配慮ください。

- 社会科の授業などで、世界の紛争や子ども兵士の問題を扱う際にご活用いただけます。戦闘員、料理係、スパイ役、メッセンジャーなどとして武力戦争に巻き込まれている子どもは、世界で数十万人いると推定されています。数ではない実際の子どもたちの声、そして子どもたちを支える人々の声は、問題の深刻さの理解につながります。

4

3分32秒

字幕



IMAGINE (イマジン) ユニセフ バージョン

「子どものために声をあげよう」ユニセフは世界に呼びかけました。その思いは共感を呼び、世界140カ国以上から歌声が集まりました。世界中の子どもが笑顔で子どもらしく過ごせる世界を、そして、あなたとユニセフが子どものために一緒にできることを、想像してみませんか。

- 英語の授業などで、英語の歌詞の意味や、そこに込められた思いを考えてみませんか。

5

3分22秒

字幕・日本語ナレーション



思いがけないインタビュー ～安全にSNSを使うために～

「ハリーポッターが好きなんだって?」「いい成績を残したんだって?」「体を鍛えてるんだって?」次々にされる質問に「誰かに私のこと聞いたの?」と戸惑う子どもたち。これらの質問は、子どもたち自身がSNSに投稿した情報をもとに作られました。「あなたの人生を全世界に公開しないで」

※この動画は、インタビューを受けた子どもたちとその保護者の承諾を得て制作し公開しております。インタビューの際は子どもの保護の専門家の方々にも同席していただくなど、万全のサポート体制を整え、撮影を行いました。

- 夏休みに入る前の集会などで、この動画を活用するのはいかがでしょう。2月5日のSafer Internet DayにSNSで本ムービーを公開したところ「ハッとした」「子どもたちに見てほしい動画」などのコメントが多く寄せられました。

7

5分16秒

字幕・日本語ナレーション



世界に広めよう「持続可能な 開発目標(SDGs)」II

国連の持続可能な開発目標(SDGs)を達成するには、クリエイティブなパワーが必要です。SDGsは途方もなく大きな目標に感じるけれど、身近なことから取り組みれば大きな変化を起こせるはず。発明・工夫・キャンペーン、この3つの方法でSDGsに貢献する世界の若者の活動を紹介します。

- 総合的な学習の時間や社会科公民的分野の最後の学習に。子どもだから何にもできない?本当にそうでしょうか。「より良い社会を作るために自分は何ができるのか」を考えるヒントに。

SDGs副教材とセットでおすすめ!

授業の導入にはユニセフ活動の手引き(2018年度版)のDVD収録の動画もおすすめです!

※2018年度・2019年度のユニセフDVD学習教材収録の動画は「子どもと先生の広場」(www.unicef.or.jp/kodomo/)から見ることもできます!



子どもと先生の広場

6

1分58秒

字幕



100円の旅

例えば、100円の募金。その100円の募金がどのように使われているのかを分かりやすく紹介するアニメーションです。募金活動の前や後に見ることで、その募金がどのように使われているか理解を深めることができます。

- 2017年のユニセフの活動報告にもなっています。文化祭などでユニセフの展示ブースを設置する際に、会場で繰り返し再生しておくといった活用例もあります。

8

13分23秒

字幕・日本語ナレーション



ユニセフと地球のともだち

ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことのできる映像です。導入(0:00～)、歴史(0:42～)、保健・栄養(1:51～)、教育(4:53～)、水と衛生(6:02～)、子どもの保護(8:06～)、まとめ(11:54～)で構成されています。

- 社会科の授業で国連やユニセフについて学習する際や、ユニセフ活動に取り組む前の学習にご活用いただけます。

▶長谷部誠 日本ユニセフ協会大使の活動

9 日本の子どもたちへのメッセージ (1分02秒) 字幕



「世界では、みんなと同じ年代の子どもたちで、すごく厳しい環境の中で生活している子どもたちもいます。そういうこともみんなに知ってほしいし、将来みんなも世界を広い目で見て、さまざまな活動をしていってほしいと思います。」

10 【ユニセフ公共CM】 難民キャンプ篇 (31秒) 字幕



「教育というのは目に見えないものではあるんですけど、水や食料と同じように本当に必要で大切なものだなと感じます。」